

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験一次試験を29人が突破！ 二次試験対策も入念に

○令和5年度教員採用試験（令和6年度採用）一次試験合格者数速報！

今年度の教員採用試験は、外国語学部日本語学科及び英米語学科の4年生25人と卒業生11人が受験し、29人が一次試験に合格しました。昨年度と比べて12人の増加となりました。都区市別の一次試験合格者数は下表のとおりです。また、今年度から実施された3年生を対象とする前倒し選考に3年生9人がチャレンジし、千葉県で2人、東京都で2人が通過者となりました。この4人は、来年度の選考において教職教養と専門教科の筆記試験を受験しなくてもよくなりました。

受験先	校種・教科等	受験者数	現役生 合格者数	卒業生 合格者数	合格者数計
千葉県	中高・国語	5	4	-	4
	中高・英語	10	3	3	6
	小学校・全科	1	1	-	1
東京都	中高・国語	4	3	1	4
	中高・英語	9	8	1	9
川崎市	中高・国語	1	1	-	1
埼玉県	中高・英語	1	0	-	0
茨城県	中高・英語	1	-	1	1
福島県	中高・英語	1	-	1	1
新潟県	中高・英語	1	-	1	1
愛知県	中高・国語	1	-	1	1
熊本県	中高・英語	1	0	-	0
合計		36	20	9	29



上：小論文対策講座 下：集団討議練習

教職課程センターでは、一次試験対策として、教職教養・一般教養ビデオ講座をはじめ、専門教科講座や小論文対策講座、集団討議練習など、受験する自治体に応じた対策講座を実施してきました。



英語実技試験の練習

二次試験対策は、一次試験終了直後から開始し、29日、延べ88時間にわたって実施しました。各地区の試験内容に応じて個人面接や模擬授業に向けて、本番さながらの練習を行いました。英語の実技試験として実施される、英語でのスピーチやネイティブとのディスカッション（東京都）、英語による面接やALTとのTTの模擬授業（千葉県）の対策では、MLACCからPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授の熱心な指導のおかげで、受験者一人ひとりに応じたきめ細やかな練習を入念に行うことができました。

＜二次試験後の学生の感想から＞

- 面接官3人とも優しい人だったので、緊張はしたが落ち着いて練習通り答えることができたと思う。とにかく練習の大切さを知ることができた。たくさん練習してよかった。
- 二次対策の際にそれなりに回数をこなしていたため不安を抱えずにやり遂げました。全体を通して、対策の通りに進んだのでストレスがありませんでした。
- 模擬授業も、個人面接も、TTも、上手くいったと自信を持っては言えませんが、その場を楽しんで頑張りました！そして、私の熱い教育愛を語ることは出来たと思います！
- 今まで練習してきた成果を存分に発揮でき、後悔なくやりきることができました。試験当日まで毎日練習に付き合ってください、ありがとうございました。

明海大学・朝日大学共催 2023 英語授業改革セミナー 「本気で授業改革！」ハイブリッド式が定着

8月2日(水)に第6回「明海大学・朝日大学共催 2023 英語授業改革セミナー」が開催されました。今年も、明海大学での対面式と Zoom によるオンライン形式を併用した形で実施し、全国の小中高校の先生方をはじめ、教育委員会の方々、大学教員、大学生、教育関係者等 220 人以上が参加しました。開講式での明海大学中嶋裕学長と朝日大学大友克之学長の挨拶の後、第1部の基調講演では、文部科学省初等中等教育局外国語教育推進室教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官の入之内昌徳先生から、「学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校外国語科の学習指導の改善・充実～コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指すための英語教師の指導力～」という演題で、中学校の英語授業の今後の展望について、全国学力・学習状況調査の結果などを踏まえながら、分かりやすい内容で、多くの示唆に富む御講演をいただきました。第2部では次の4種類のワークショップ(90分)をそれぞれ2回実施しました。

A	「困っていませんか？ 授業改善-授業づくりのイッセンス-」 朝日大学経営学部・英語教育センター教授 亀谷みゆき 同准教授 児玉靖明
B	「『発信力』を育成する豊かな授業づくりとは～論理・表現の授業から～」 都立千早高等学校主幹教諭 中村隆道
C	「「わかったこと、できたことをどのように使うか」(思考・判断・表現)にフォーカスした英語指導法の実践-技能統合「リテリング」を通して、理解し伝えることのできる英語運用能力の育成を目指して-」 旭市教育委員会外国語教育アドバイザー・東京女子大学国際英語科・千葉大学教育学部英語科非常勤講師 加瀬政美
D	「小中接続を意識した授業実践を考える」 明海大学教職課程センター・地域学校教育センター教授 石鍋浩 江東区立辰巳中学校主幹教諭 大木田陽子



入之内昌徳先生の基調講演



ワークショップAの様子

各ワークショップでは、講師の先生方と受講者のやり取りや参加者同士のグループワークなどを通して、英語指導法や評価について学びを深めるよい機会となりました。なお、今年度から本学の卒業生で中学校や高校で活躍している教員がアシスタントとして参加しました。本セミナーの運営には、大学教職員とともに教職課程を履修する学生20名がボランティアとして活躍してくれました。2学期からの授業改善のためのヒントが満載の充実したセミナーを実施することができました。

高校生が METTS を訪問

8月20日(日)、オープンキャンパス当日、明海大学と教育連携を結んでいる東京都立葛西南高等学校と千葉県立浦安高等学校から3人の高校生が教職課程センター(METTS)を訪問してくれました。キャンパスツアーなどの合間に、日本語学科4年清宮咲歩さんが高校生たちとMETTSで歓談し、「受験勉強はどうしましたか?」「大学の授業は難しいですか?」「明海大学のよさはどんなところですか?」といった質問にこやかに答えていました。参加してくれた高校生の中には、今年2年目となる「SDGs入試プログラム」に興味がある人もいて、質問もかなり具体的でした。帰り際、「来年4月に明海大学でお待ちしています。私は卒業してしまいますが(笑)」との清宮さんのエールに、高校生の皆さんも笑顔で応えていました。



未来塾～浦安市との連携事業～

浦安市との連携による青少年自立支援未来塾で、教職課程を履修する学生8人が、学習支援ボランティアとして活動しています。未来塾では、市内9つの中学校の生徒が6か所の公民館に週1回程度通い、英語や数学を学んでいます。



<参加学生の声>

「実際に中学生と触れ合う機会はなかなかないので、教育実習や実際に教師になった時のための貴重な経験となっています」(日本語学科3年吉野青空さん)

「中学生同士が自分たちで教え合っているのを補助しています。教え方にもいろいろな形があることを知りました」(英米語学科3年池内夏美さん)

「中学3年生は部活動や受験勉強で大変なので、未来塾で少しでも楽な気持ちで明るい雰囲気の中でほしいと思います」(英米語学科3年布施名菜さん)

アゴラ活用状況(人)	
7・8月合計	677
2018年度からのべ数	61,529